

# 会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成29年度第1回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成29年9月5日(水) 午後4時～午後5時30分
開催場所	水谷公民館 和室1
出席者	是永 国彦委員 山本百合子委員 中島 秀行委員 富塚 一資館長 高見 淳也主査
会議次第	【報告・連絡事項】 (1) 学級講座等開催事業等に関して (2) 施設維持管理事業に関して 【協議事項】(意見交換) (1) 水谷公民館の事業展開について *学校・家庭・地域と公民館について
会議資料	・水谷公民館の子育て・子ども対象・家庭教育事業の実施状況

## 会 議 内 容

\*あいさつ(館長、水谷地区公民館運営審議会委員代表)

### 【報告・連絡事項】

- (1) 学級講座等開催事業等に関して  
⇒事務局から夏季実施事業について報告
- ・親の学習講座
  - ・水谷青空学校
  - ・みずほ台小区青空学校
  - ・東日本大震災富士見市応援プロジェクト東松島夏まつり参加
- (2) 施設維持管理事業に関して  
⇒事務局から説明
- ・備品購入(講座室用椅子)
- (3) 公共施設予約システムについて  
⇒事務局から説明(講習会の実施や今後の予定等について)

### 【協議事項】(意見交換)

- (1) 水谷公民館の事業展開について  
事務局: この数年、子どもの貧困対策、居場所づくり、家庭教育の取り組みの充実が、求められている。水谷公民館としても、『親の学習講座』や、『いわゆる子ども食堂の取り組みに対する支援などを行っているが、課題もある。そこで、学校

現場を知る委員から、学校・家庭・地域の現状について話題提供をいただき、そこから公民館における子どもの貧困対策、居場所づくり、家庭教育の取り組みの充実について意見を交わし、今後の取り組みの参考としたい。

委員： 学校内で学習に関するアンケートを実施した。その結果、生徒の意欲は高いが、それに比較して、学習の理解度が低く、家庭での学習時間もそれほど多くない状況であった。就学支援を受けている家庭も多いと感じる。また、共働きで家族が揃う時間が少なくなっている。そのような状況の中で、今年度から教育委員会が家庭学習支援事業を始め、さらに公民館を会場に行っていることはありがたいと思う。

北陸地方などが全国的に学力が高いという結果がでていますが、食、住など家庭が安定していて、生まれつきコミュニティが育てているところが大きな要因と考える。その中で、富士見市がふるさとと捉えることが少ないのでは、ふるさととしていいと捉える環境があるのか…、学校の周りにも自然環境はあるが、それを生かしていないのでは…と考える。

これらを踏まえ、子どもたちをいかに地域の一員だと意識させること、そのためにいろいろな出番を創出すること、また親については、親の学習の機会に参加する親は意識の高い方だと捉える。そうでない方をいかにして参加いただくかが、重要になると思う。

公民館には、子どもたちに社会経験を積むこと、『ぼくたちは役に立つ』ということを実感することを意識して取り組んでもらいたいと考える。そのことが富士見市がふるさとという意識のつながっていくのではと考える。

具体的には、大人が企画してそれに参加するよりも、子どもを入れて企画しながら事業を組み立て、『君たちの力が必要だよ』と意識させ、そのために子どもたちも『一肌脱ぐか』という気持ちにさせていくことが大切だと考える。

学校としても『ボランティア証書』を発行するなどして、その活動を評価する取り組みを行っている。

また、子どもたちが公民館に来ることを待つだけでなく、公民館で行っている活動を学校に入っていく切り口も必要では。例えば、お花のサークルが学校の玄関で生けてもらえれば、その様子を子どもたちが見て、興味を湧く。そこで、つながりが持てて、体験したり、公民館での展示の機会なども持てるのでは。他市の学校の事例だが、校内の百人一首大会で公民館利用のサークルの方に読み手をお願いした。そこから生徒が興味を持ち、そのサークルとかわりを持ち、百人一首を続けていったこともあった。

今回、公民館の文化祭で舞台参加のお話をいただいているが、ボランティアの参加協力についても、話をさせていただいているところである。

委員： 公民館と学校・地域のかかわりについて、公民館から学校に出向いて広がりをもたせようということについて、そのような発想はなかった。中学生の孫がいるが、そのような視点はないのではと思う。学校の負担にならない範囲で、そのような展開を考えていく必要があるのでは。

委員： 自分自身も子育てが終わっていて、今回、地域の学校の状況を知ることができた。公民館やサークルから学校に出向くという視点はそのとおりと思う。

委員： 公民館、学校と双方向にメリットが得られる取り組みを行い連携が深められ、富士見市がふるさと意識の向上につながるようになればと考える。

事務局： 今回は、学校の状況から公民館、地域のかかわりについて、貴重な意見をいただいた。水谷文化祭で、中学生のボランティア参加について、調整しているところであるが、今後の取り組みについて生かしていきたいと考える。

\*その他  
(特になし)

\*閉会